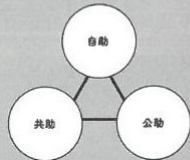


Survival Camp サバキャン

- 市民版防災疑似体験 -

As-Is
自助・公助・共助のバランス
崩壊による対応力の低下



To-Be
自助・共助・公助のバランスの
取れた災害に対応できる
ひとつづくり・まちづくり

自助力の向上

日常時から
非常時にも対応できる、
日常備品の調達能力の向上

非常時に使用する
備品の使用能力の向上
(消火器が使えるようになる等)

共助力の向上

日常時から
隣人など地域コミュニティとの
コミュニケーション機会の創出

非常時に
身の回りのものを、
非常時に応用する能力の向上

非常時に必要なものを
作り出す能力の向上

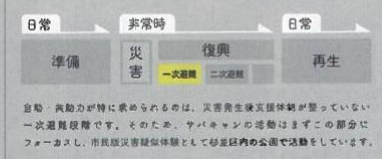
プロデュース 山田 清
2011年 日本大震災直後に、杉並区内の公園で行われた大規模防災訓練。参加した人からあがった「市民がお客様としての訓練ではまずいよね」との声が発端になり、区内でまちづくり活動に取り組む人々を中心に始まりました。



2011.12 2015.8 2016.8 2017.6 2018.10 2019.7 2020.10 2022.10

2014.7	2016.1	2016.10	2017.7	2018.11	2019.10	2021.11	2022.6
2014年サバキャン 初めてのサバキャン 「食べてみよう、寝てみよう、そしてみんなでつながろう」	2016年サバキャン 食と寝 「食と寝」をテーマに、食と寝の体験を通して、防災意識を高める。	2016年サバキャン 防災と防災 「防災と防災」をテーマに、防災意識を高める。	2017年サバキャン 防災と防災 「防災と防災」をテーマに、防災意識を高める。	2018年サバキャン 防災と防災 「防災と防災」をテーマに、防災意識を高める。	2019年サバキャン 防災と防災 「防災と防災」をテーマに、防災意識を高める。	2021年サバキャン 防災と防災 「防災と防災」をテーマに、防災意識を高める。	2022年サバキャン 防災と防災 「防災と防災」をテーマに、防災意識を高める。

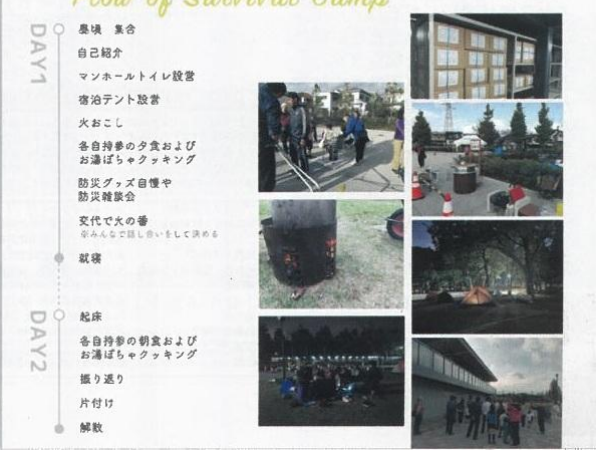
日常 / 非常時とサバキャン



1. 目的
近頃頻りに都市、特に杉並区を襲うことが懸念される災害発生に際して、公的支援が滞る民間の初期段階において、地域住民自身が主体的に災害に対応し、近隣住民の助け合いの下に、人的及び物的被害を最小限に食い止めるために、日頃から訓練を行いこれに備えることを本会事業の目的とする。

2. 主たる実施事業
(1) 避難所の点検、避難所に備える改善の提案、及び避難訓練の実施
(2) 避難場所の点検、及び避難場所に関する改善の提案
(3) 避難場所における生活支援体制の実施
(4) 本会の目的を達成するために必要なその他事業

サバキャンの二日間



審査員賞 / 山本想太郎賞

サバキャン / サバキャン 山田 清

【サバキャン】は文字通りサバイバルキャンプの略称です。

2011年の東日本大震災直後に杉並区内の公園で行われた大規模防災訓練に参加した顔見知りの人たちからあがった「市民がお客様の訓練ではまずいよね」との声が発端になり、区内でまちづくり活動に取り組む人々を中心に始まりました。

当初のアイデアは、区内にある大きな公園を借り切った【災害疑似体験】です。初日の朝に参加者が集合した後は周囲から遮断した状況で一週間過ごすというもので、一週間後に自治組織ができるかもしれない、あるいは最後まで混乱状態かもしれない。だが、開催したことに意味があるので、どのような結果になっても失敗はない。この間の【個人的体験】が【社会の経験】になるのだと。

こんな企画が受け入れるわけではないですね。でも、実際の大災害時には同様の事態になるかもしれません。そこで私たちは訓練ではなく【災害疑似体験】を通して、日常から突然迎えた非常時に対応できるようにこのイベントを続けているのです。

皆さんも参加してみませんか？



1) 成り立ち

2011年3月11日に発生した東日本大震災の後に杉並区内で開催された大規模防災訓練に参加した顔見知りの人たちから

「市民がお客様の訓練ではまずいよね」

といった声が発端となって始まった活動です。

詳しくは別紙の「公園緑地_No_79 第5号 B_本文_p48-49_0305」をご参照ください。

2) 開催の概要

①開催にあたっては杉並区の防災課及び緑公園課と事前の意見交換を行い、杉並区からの後援を得ているほか、所轄の消防署に「揚煙届」と所轄の警察署に開催する旨の連絡をしています。

②参加者の募集は「杉並区広報」を主体に、口コミやチラシで行っています。

③形式的には主催者と参加者の関係になりますが、全員が実行委員という考え方で参加者による協働により当日の運営をしています。

④応募された方には事前に

「こういう活動をしますので、必要と思われるものをご用意ください」

という程度にとどめておき、開催期間の時間配分や役割分担などの説明をします。

⑤開催期間中は必ずしも予定通りに進められるわけではありませんが、そこはみんなで相談をしながら臨機応変に対応をしていく状況です。

3) 活動の目的

①サバキャンは「防災訓練」ではなく「災害疑似体験」です。しかも「市民版」という。

②サバキャンの活動で求めているのは「成功物語」ではなく「失敗の共有」です。イベントの最後には、全員から参加した感想を共有します。そして「個々の体験」を「社会の経験」に変換していき、自助・共助の層を厚くしていけたらと考えています。

③災害が発生した瞬間から「日常」が「非常時」になります。また「非常時」から、それまでとは違う「日常」に向き合わなければなりません。

④「公助」の主たる担い手の行政には「市民の救済」だけでなく「復興計画の作成」といった役割がありますので、そのためには防災グッズの準備のほか、自助・共助が成り立つ「小さな規模での自治」が機能するようなことに結び付けることができたらと考えているところです。

タイトル欧文●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

サバイバルキャンプ杉並 代表

A black and white photograph showing a group of people gathered around several large, dome-shaped tents set up on a flat, open field. In the background, there are trees, utility poles, and buildings under a cloudy sky.

まち・みどりの話題 | 公園緑地 Vol.79 No.5 2019 | 49

サバキャン 2021 企画書

■ (仮題) 木密地域で“生き延びる”を考える

今回は、「木密地域にある防災公園を使ってみる」をメインテーマとする。

■ サバキャン 2021 の目的とねらい

1. 参加者自らによる災害への対応と減災意識の醸成～自助力の向上
 2. 実践に即した疑似災害時体験
 3. 災害に対応できる人と人のつながりづくり
 4. 災害時にも自立できる地域社会の確立～共助力の向上
- を目的とする。

■ サバキャン 2021 実施概要

- 日時 2021 年 11 月 13(土)10:00～14 日(日)10:00
- 実施場所 馬橋公園＋遊び場 118 番
- 主催 サバイバルキャンプ杉並
- 後援 杉並区(後援名義使用申請をする)
- 内容
 - ・木密地域での避難を考える
 - ・馬橋公園の防災機能を知る
 - ・逃げ地図づくり
 - ・私の災害時用グッズ自慢&非常食自慢

準備するもの (直火が使えない場合はプロパンガス、バーナーを借りる)

- ☐ 大鍋
- ☐ 水
- ☐ 薪
- ☐ 火受け板(一斗缶を開いて作成 2 枚)
- ☐ 手指消毒液
- ☐ マスク(予備)
- ☐ 非接触型体温計

※コロナウイルス感染症対策を十分とって実施する。

- ・手指消毒(手指消毒液、手指洗浄用に固形石けんを配備)
- ・マスク着用
- ・非接触型体温計で体温測定
- ・家族単位あるいは個人での行動をする
- ・食べ物を分け合わない
- ・ソーシャルディスタンス
- ・大声を出さない

■ 参加者 : 20 名

- サバイバルキャンプ杉並のメンバー
- 区内在住・在勤・在学の方、在活動の方
- 事前申込み制

- 参加費:13 日(土)午前の部は無料
13 日(土)12:30 以降有料 500 円

■ 当日のタイムテーブル

11 月 13 日(土) 日の入り:16 時 36 分

- 9:00 スタッフ集合
9:30～ 受付開始(参加者リスト、領収書、ネームテープ、マジック)
10:00 開始 ◆馬橋公園の機能を知ろう!
できれば区防災課、公園課から公園が持つ機能のお話とお知らせ
放水銃・ゲートシャワー・防災備蓄倉庫・災害用トイレ・給水拠点・漏電ブレーカー
◆講師:木家 浩司さん(JRVC=日本レスキューボランティアセンター)防災散歩
木密地域で「生き延びるを」考えるー地域を知って逃げ地図づくりー
◆湯を沸かす
◆作る:オイルランタンづくり
◆見る:ソーラーランタンとソーラークッカーの展示と説明(天気次第)

12:30～ 昼食 (各自が用意した防災食を各自で食べる)

14:00～

宿泊が可能な場合

テント設営
夕飯の準備(湯を沸かす)
オイルランタンを灯してみる
各自が用意した防災食を食べる

宿泊が不可の場合

防災グッズ自慢
情報交換タイム
作ったオイルランタンを灯してみる
16:00 解散

17:00～

18:30～

防災夜話

20:00

就寝

11 月 14 日(日)

日の出時間:6 時 15 分

- 7:00～ 起床 テント乾かし準備
朝食づくり(湯沸かし)
8:00～ 朝食
9:00～ 振り返りタイム アンケート
片付け 清掃
10:00 終了
11:00 撤収完了